

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

目 次

1. 群馬衛生管理者協議会の開催結果
2. 産業保健セミナー（12・1月の予定）のご案内
3. 11月のセミナー結果
4. その他関係機関の動き
5. 事業仕分、その後

群馬衛生管理者協議会総会・講演会・交流会の結果

11月17日に前橋テルサで衛生管理者協議会の総会・講演会・交流会が開催されました。

1. 総会

萩原俊治会長の挨拶の後、過去1年間の活動報告と今後の活動計画そして役員改選について審議が行われ、すべてが承認されました。

来賓として出席いただいていた群馬労働局の小出安全衛生課長から祝辞を頂き、無事終了しました。

2. 講演会

「現代型うつについて～治りづらい人たち～」という演題で、当センターのメンタルヘルス担当の渡辺俊之相談員を講師として講演会を行いました。

従来の「うつ」についての典型的な症状や性格的特性についてお話頂いた後、「現代型うつ」の特徴、性格傾向、治療そして事例についてお話いただきました。

3. 交流会

6班に分かれ約80分の班別討議を行いました。

1・2班は“衛生管理者の役割”について話し合い、「衛生管理者の資格を取ったものの何をしたら良いか分からない」「有害物質を使っていない事業場ではどこを見れば良いか分からない」「企業の規模により安全衛生管理体制が様々で、衛生管理者の役割もさまざま」「安全は緊急性が高く安全の責任者にはトップが就くが、衛生は資格のあるものが就く」「衛生管理者の業務には個人情報保護に関するものが多い」等について話し合われました。

3 班は“メンタルヘルス対策”について話し合い、「社員がメンタルに罹ったらどうしよう、どう対応しよう、罹る前の対応は？等問題が多い」「新入社員の研修の方法やセルフケア」「長時間労働の排除」「医師の面接指導」「職場復帰」「推進センターを利用した教育」「健康機器の購入」等多岐にわたる議論が行われました。

4・5 班は“禁煙対策”について話し合い、「分煙は進んでいる」「禁煙に成功した人にはご褒美を出す」「禁煙プログラムの推進」「トップの考えで変わる」「喫煙者に対していかにして不便さを作るか」「禁煙したいという環境をつくる」等について意見が交わされました。

6 班の“衛生管理者の悩みごと”に関しては、「トップ次第でいろいろな問題が発生してしまう」「メンタルや健康管理に関してはなかなか本人に声を掛けにくい」「安全衛生委員会で発言する人が決まってしまう」「職場で衛生管理者の業務について話せる人がいない」「問題点を指摘してもお金が出ない」「衛生管理者専任ではないので、衛生管理者の業務に当てる時間をとりにくい場合がある」等切実な悩みが出されましたが、「でも、成功すると嬉しい」という一言が耳に残りました。

班別の討議を終えて一番の成果は、企業の中では孤立しがちな衛生管理者の皆さんが本音で日ごろの思いを話し、みんな同じような悩みを抱えてそれでも頑張っているんだということを確認できたことではないかと思います。班別討議が縁で知り合い、それ以後も情報を交換している衛生管理者の方もいらっしゃるようです。

班別討議終了後、群馬労働局の衛生専門官から講評、真下当センター所長から総評をいただき、衛生管理者協議会総会、講演会、交流会が終了しました。

ご参加いただきました衛生管理者の皆様、お疲れ様でした。
この日のために、何度か会議を持ち、当日も受付や会場設営に奮闘していただきました役員の皆様、ありがとうございました。

また、業務の関係で参加できなかった衛生管理者の皆様、来年の参加をお待ちしています。

(当日の様子は当センターホームページからご覧になれます。)

産業保健セミナー（12・1月の予定）のご案内

平成 22 年度 1 年間の研修はホームページに掲載してありますが、ここでは 12・1 月分を掲載します。年末年始であわただしい時期ですがどうぞご参加ください。

(1) 実地研修

開催日時 12月2日(木) 13:00～16:00
会場 富士重工株式会社 宇都宮事業所
内容 ヘリコプターを製造している富士重工株式会社宇都宮事業所へ出
かけ、厳しい労働衛生管理や現場の状況を研修します。
集合場所は、前橋大島駅に9時、太田バスターミナルに10時でバ
スを利用して出かけます。(詳しい日程はホームページのトピック
スをご覧ください)
通常は工場内へ入ること自体厳しい制限がありますので、この機会
に是非ご参加ください。

(2) やる気のスイッチを入れるには

開催日時 12月7日(火) 14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 大小原 利信氏 (㈱ラポール企画代表)
内容 ストレス社会の中で、思っていることややりたいことを出来ずに留
まっている人が多いのではないのでしょうか？一人ひとりが伸びの
びと、元気に自立的に行動して自己実現に向かっていけるようなヒ
ントを学びます。

(3) 労働衛生のリスクアセスメント

開催日時 12月8日(水) 14:00～16:00
会場 渋川市中央公民館
講師 柿沼 泰明 相談員 (衛生工学担当)
内容 健康障害防止のため化学物質のリスクアセスメント手法を解説し、
事例を挙げて一緒に評価します。また、ソフト面のリスクアセスメ
ントについても、参加者全員で考えてみようと思います。

(4) 職場で役立つ最新の労働衛生関係法令 (どなたでも 生涯・更新2単位) *

開催日時 12月9日(木) 14:00～16:00
会場 足利市民プラザ (足利市朝倉町264番 0278-72-8511)
講師 関口 光男 相談員 (労働関係法令担当相談員)
内容 最新の労働関係法令の解説を行います。

*群馬栃木産業保健推進センターとの共同企画です。

産業医の方が参加していただくと単位が取得できます。どなたでも参加できます。

(5) メンタルヘルス対策及び職場復帰支援対策にかかる研修

(生涯・専門3.5単位取得)

開催日時 12月11日(土) 13:15～17:00
会場 マーキュリーホテル (前橋市大友町3-24-1 027-252-0111)
講師 ①竹内 一夫 相談員 (メンタルヘルス担当)
②倉富 雄四郎氏 (富士重工株式会社群馬製作所 専属産業医)
③倉富 雄四郎氏 (富士重工株式会社群馬製作所 専属産業医)

- 内 容 ①労働安全衛生法におけるメンタルヘルス対策
②職場復帰支援対策
③労働安全衛生法における長時間労働者に対する医師による面接指導等の手法

(6) メンタルヘルス体制作りと連携

- 開催日時 12月13日(月) 14:00～16:00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講 師 竹内 一夫 相談員(メンタルヘルス担当)
内 容 職場におけるメンタルヘルスケアの体制作りや、実際のケース対応をめぐる関係機関の連携のポイントについて、講義形式と演習形式(討論)を組み合わせて進めていきます。(応用レベル)

(7) 最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その2

- 開催日時 12月15日(水) 14:00～16:00
会 場 群馬産業保健推進センター セミナールーム
講 師 関口 光男 相談員(労働関係法令担当)
内 容 職場巡視は衛生管理者の職務のひとつです。巡視は危険場所や有害な作業のやり方発見のチャンスです。作業者の顔色を見て元気なことを確認し、有害物の取り扱い作業で暴露が最小限となるような手順でやっているか、周辺に漏れ出していないか、保護具・局排装置は良いか等を見て回ります。トイレ、休憩所、喫煙場所も含まれます。

注; 10月28日の続きですが、この回だけでもご理解いただける内容です。

(8) 健康診断の事後措置(産業医 生涯・専門・2単位)

- 開催日時 12月16日(木) 15:00～16:00
会 場 前橋テルサ つつじ
講 師 月岡 関夫 相談員(産業医学担当)
内 容 事業場における健康診断の意義は、時代とともに大きく変わってきている。以前は職業病、結核、高血圧等の早期発見が目的であったが、1987年「WHO」からの「作業関連疾患」の報告があり、また生活習慣病の増加も目立つようになったため、検査項目が大幅に増加した。更に近年、労働形態の変化、高齢化、ライフスタイルの多様化などにより生活習慣病の予防にも重点が置かれるようになった。そのため検査値ならず生活習慣病、家族歴、病歴、性格等全人格的把握が必要となっている。

(9) 歯科保健から考える生活習慣病

- 開催日時 1月13日(木) 14:00～16:00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講 師 山口 達雄氏(山口労働衛生コンサルタント事務所所長・歯科医師)
内 容 事業場での歯科健診は重要です。「成人歯科健診」と「産業歯科健診」の違いと、産業歯科医による歯科健診を行わなければならない

職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また、歯周病が全身に与える影響を解説します。

(10) 保護具の管理実習（産業医 生涯・実地・2単位）

開催日時 1月20日（木）15:00～17:00
会場 前橋テルサ けやきB
講師 大澤 武克 相談員（衛生工学担当）
内容 マスクをしていれば安全だと思っていませんか？溶接作業場で使用しているメガネは大丈夫ですか？職場巡視の時に作業者に一寸アドバイスができると「うるさいけど良い産業医」**

(11) 管理者のためのリスニングとコーチング

開催日時 1月25日（火）14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 鈴木 浄美 相談員（カウンセリング担当）
内容 部下の仕事のパフォーマンスは、少なからず上司の関わり方に係わっているといえます。上司のちょっとした態度や言葉使いが良くも悪くも影響するのです。部下を一人でも持つ方に「話の聞き方」「コーチングスキル」のポイントを紹介し、体験していただきます。

11月のセミナー結果

(1) 産業医と保健師・看護師の連携の進め方

11月4日、当センターセミナールームで産業医学担当の中村保子相談員に講師をお願いして実施しました。

研修の内容は「労働者の健康は労働安全衛生法という法律のもとで確保されている」という大前提から始まり「産業医・衛生管理者の役割」「産業保健師の重要性」「衛生委員会」「連携の必要性」「具体的職務内容」についてお話がありました。

参加者からは「連携の図り方について大変参考になりました」とのご意見を頂きました。

(2) 測定機器の取り扱いと職場の改善方法

11月9日、当群馬産業保健推進センターセミナールームで、衛生工学担当の大澤武克相談員が講師を勤め実施しました。

座学の後、風速・騒音・検知管でのガス測定等実際の測定を体験していただきました。参加者からは「測定機器の取り扱いが分からなかったのが有益だった」「実習があつてとても良かった」「親しみ易く分かりやすかった」等のご意見を頂きました。

(3) 精神科医に対する産業保健に関する研修（産業医）

11月11日、当センターセミナールームで、講師として真下延男所長・月岡関夫相談員をお迎えして、産業保健概論と職場のメンタルヘルス対策及び職場復帰

支援・職場のメンタルヘルス対策の事例検討の研修を実施しました。
主として精神科医を対象とした研修でしたが、産業医の先生にもご参加いただきました。

参加者からは、「説明が分かり易い」「大枠だけでなく具体的な事例や対策も聞けたのが良かった」というご意見のほか、「役所の文章は分かり易いとはいえない」とのご意見もありました。これは本研修が厚生労働省の委託事業だったこともあり、一部労働者健康福祉機構の資料を使用したことによるものです。

(4) メンタル不全者の休職と職場復帰

11月12日、高崎市総合福祉センターにおいて、メンタルヘルス担当の椎原康史相談員に講師をお願いして実施しました。

研修の内容は、「部下への安全配慮義務とメンタルヘルスケア」「ラインケアの基本的姿勢」「管理責任を負う上司を明確に設定する」「本人が病気を認めず受診をしない場合の対応」「受診後・初期の段階での対応」「メンタルヘルスケアのシステム」「療養中の部下への対応」「復職前後の対応」「復職者への接し方」等専門的でありながら分かり易い内容でした。

参加者からは「非常に具体的で分かり易かった」「今まで難しく考えすぎていた」「すぐ役立つ情報を得られた」「分かり易く楽しいセミナーでした」等のご意見を頂きました。

(5) 人間関係スキルとして聞く力伝える力

11月16日、浜川市中央公民館にて、カウンセリング担当の鈴木浄美相談員に講師をお願いして実施しました。

内容は、「言葉の重要性」「傾聴の基本」「人間関係とは？」等基本的な講義の後、3名ずつに分かれてグループワークを行いました。

参加者からは「勉強になった」「アサーティブについてもっと聞きたかった」「グループで行ったのが良かった」等のご意見を頂きました。

(6) 現代型うつ病

11月17日、衛生管理者協議会終了後、前橋テルサでメンタルヘルス担当の渡辺俊之相談員を講師にお迎えし実施しました。

従来の「うつ」についての典型的な症状や性格的特性についてお話頂いた後、「現代型うつ」の特徴、性格傾向、治療そして事例についてお話いただきました。

参加者からは「専門分野の深い内容の話でよく理解できた」「実務に活かせる」「うつの傾向が理解できた」「話が具体的で疑問を解決できる糸口が多かった」等のご意見を頂きました。

(7) 職域における健康診断実施上の問題点と対策（産業医）

11月18日、昭和庁舎において、産業医学担当の藤田晴康相談員に講師をお願いして実施しました。

「法令と用語の注意」「産業保健における健診の位置」「地域健診との関連」「健診の実情と問題」の内容で、健診の種類や項目、省略できる項目について丁寧なご説明がありました。

参加者からは「初心者によく理解できた」「大変有益だった」とのご意見を頂き

ました。

また、会場変更をしたため「会場の変更については、間違いなく伝わるように注意してください」とのご指摘もありました。申し訳ありませんでした。

(8) 健康ウォーキング

11月27日に、群馬THP推進協議会主催、当センター協賛で実施しました。前橋市大室公園に9時に集合。主催者挨拶の後、榎本秀樹氏（ヘルスケア・リーダー健康運動指導士）等スタッフから、ウォーキングの効果、歩き方について説明を受け、準備運動をしてウォーキングを開始しました。五料沼を1周すると約1.5キロ、参加者は体力に応じて2～3周を歩きました。お天気にも恵まれ、参加した皆さんは、心地よい時間を過ごせたのではないのでしょうか。

(9) 一緒に考える衛生管理者の職務

11月30日、当センターセミナールームで、株式会社ミツバの衛生管理者荻原勉氏を講師にお招きして実施しました。全員が参加して衛生管理者の職務について一緒に考えました。参加の皆さんからは、「衛生管理者の職務は広い範囲にわたっており、奥深いと思いました」「具体的な意見が聞けてよかった」「内容が絞りきれなかった」「同じ職種の人の意見や状況を知ることができ心強くなった」「発言者が少し偏っていた」等の意見を頂きました。

(研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。)

その他関係機関の動き

- * 平成21年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場が公表されました

(厚生労働省)

平成21年度中に石綿ばく露作業による労災認定等を受けた労働者が所属していた事業場の名称、所在地、作業状況等を取りまとめたものが公表されました。

群馬県内の事業場も含まれています。(建設業2事業場、建設業以外2事業場)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000wogh.html>

- * 「事業場における産業保健活動の拡充に関する検討会」の報告書が公表されました。

(厚生労働省)

本年9月に「職場におけるメンタルヘルス対策検討会」報告書の中「事業場に対する支援体制の整備」「人材の確保」「地域との連携」について、メンタルヘルス対策に重点を置いた検討の結果です。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000wvk2.html>

＊群馬県の「特定（産業別）最低賃金」が１２月２５日から引き上げられます。

（群馬労働局）

４業種で改正になり、１時間当たり ７～８ 円引き上げられます。

http://www.gunmaroudoukyoku.go.jp/jigyouchinginching01_10.pdf

＊労働安全衛生重点研究推進協議会シンポジウム開催のご案内

（独立行政法人 労働安全衛生総合研究所）

開催日 平成 23 年 1 月 6 日（木）10：00～17：00

会 場 女性と仕事の未来館

東京都港区芝 5－3 5－3

対象者 安全衛生分野の研究者、労働安全・衛生コンサルタント、企業の安全衛生関係者、行政、労使の担当者等

定 員 200 名

内 容 ① 労働安全衛生重点研究推進協議会報告の概要と安全領域・衛生領域の重要課題（10：20～11：50）
② 科学プロセスにおける爆発火災災害と対策（13：00～14：10）
③ リスクの評価とリスク管理の現状（14：20～15：30）
④ メンタルヘルスの現状と対策（15：40～16：50）

参加費 無料

締 切 12 月 24 日

（ファックス、メール、はがきで申し込む）

参加申込書や詳細は下記ホームページからご覧になれます。

<http://www.jniosh.go.jp/announce/2010/0920/index.html>

＊産業医学実践研修開催のご案内（産業医科大学）再掲

開催日 平成 23 年 1 月 13 日（木）13:30～16:45

会 場 T K P 東京駅日本橋ビジネスセンター

対象者 産業医、衛生管理者、保健師等産業保健関係者、人事担当者

定 員 100 名

内 容 職場における感染症対策として重要なウイルス肝炎、エイズ、ノロウイルス、結核について、基本的知見、感染症対策の進め方、有病者の就業上の措置と保健指導などの感染症対策の正しい知識を学習します。

参加費 無料

申込方法 産業医科大学ホームページから申込みます。

<http://www.uoeh-u.ac.jp/JP/medical/education/jissenkensyu/index.html>

注；大阪会場、名古屋会場、福岡会場は終了しました。

事業仕分、その後

今年の4月に行われた行政刷新会議事業仕分けの結果では、全国の47都道府県にある産業保健推進センターが平成25年度までに3分の1に縮減されることになっており、早ければ、23年3月で廃止になるセンターが出るといわれていました。

当群馬産業保健推進センターがどうなるのか、利用者の皆さんに聞かれることも多く、はっきりしたらご報告しようと思っておりましたが、12月1日現在、新しい情報は殆どありません。風の便りで、どこかの推進センターの副所長が本部に呼ばれた等の噂がある程度です。

少なくとも群馬推進センターは、本部から何の連絡もありませんので、平成23年度は、何とか残るのかなと希望的な観測をしています。

(はっきりしなくて、申し訳ありません)

11月27日、群馬THP推進協議会主催、当センター協賛の「健康ウォーキング」に参加して参りましたが、82名の参加者の内、当センター配布のリーフレットを見て申し込んで頂いた方が沢山いらっしゃいました。センターの情報が皆さんのお手元に届いていることに安心し、ご参加頂いたことに感謝いたします。

ウォーキングに先立ち「ウォーキングの効果」「メタボリックシンドロームの予防」と合わせて、ウォーキングのポイントも教えていただきましたが、ポイントは次のとおりでした。

- ①肘を引くことを意識する ②目線はまっすぐに前を見る
- ③かかとから着地する ④少しだけ遠くに着地するよう心がける

これからは、ウォーキングのポイントに気をつけながら歩いてみたいと思います。皆さんもいかがですか？

<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966